

ペンタゴンが突然、バイデンのブリーフィングを停止： 「移行チーム」は締出し

役人たちはこのクリス・ミラーの行動の、なぜか、何かを知らず

Daniel Newton, @NeonNettle

December 18, 2020



バイデン側のトップ役人たちは、この突然のショッキングな指令を知らされなかった

ペンタゴン（米国防総省）がバイデン移行チームとの協力を突然、中止し、国防省全体にショックの波を送った、と現在進行中の報告は言っている。

現任者の国防総省長官 Chris Miller は、バイデンの政権移行チームとの協力を中止するように、ペンタゴン全体に対する命令を出した。

トップのバイデン側役人たちは、この指令を知らされなかったと言われる。

役人たちは、なぜ、または何が、ミラーの行動の動機なのか、それはトランプ大統領によって認可されたものなのか、全くわからなかった。

ミラーの啞然とするこの動きは、トランプ政権のトップレベルからの、バイデン・チームに対する、かつて起こった最大の憎悪と不信の爆発であった。



そして木曜日の夜、ミラーは、この建物全体の役人たちに、予定されていた移行の会見をキャンセルするように命じた

Axios は報じた：

トランプ大統領のチームとバイデン・チームの会見は、この政府が、バイデンを大統領予定者として認めることに二の足を踏んで、スタートが遅れたので、政府全体につづいているのだ。

そして木曜の夜、ミラーは、この建物全体の役人たちに、移行の会見のスケジュールをキャンセルするように命令した。

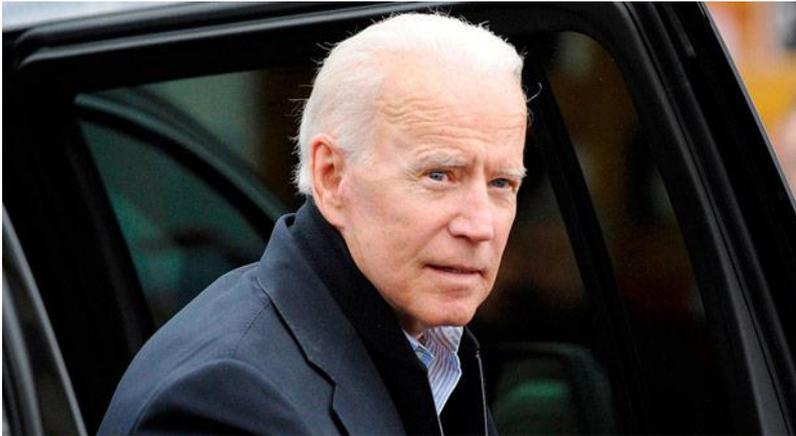
ある上席の国防省高官は、これを「最後のいくつかの予定されたミーティングを、単に、新年が明けるまで延期するということだ」と言って、この動きを軽く見せようとした。

「きょうと来週の間に残っていたミーティングは、ほんの2ダース以下だった」と、この高官は言った。

「このミーティングをやる防衛省のスタッフは、その数の多さに潰されそうだったのだ。

「これら上席のリーダーたちは、自分の日常の仕事もやらねばならず、政権移行の活動には、へとへとになっていたのだ。

「この休暇をもらえば、我々は2週間ほど休めることになる。移行の仕事は、まだやらなくてはならない。」



ある国防省高官は、単なる遅れだと言って、この動きを軽視しようとした

ミラーはある声明でこう言った：

「どんな場合でも国防総省は、インタビューを取り消したり断ったりしたことはない。

「明日から始まる、相互に合意している休暇のあとでは、政権移行と、きょうからの予定の再開を続けるだろう。」

関連ニュース：「カマラ・ハリスは、ハンター・バイデンの E メールの中で、中国取引の接触のカギをもつ人物として、名を挙げられている」

<https://neonnettle.com/news/13552-kamala-harris-named-in-hunter-biden-email-as-key-contact-on-china-deal>

[Greachain 訳注]

クリス・ミラーは、トランプによって急遽、ペンタゴンの責任者に任命された人である。彼が取った行動の真意は推測するしかないが、これは明らかにバイデン政権への挑戦であり、休暇は正月明けまでと言っているが、その後も政権移行の仕事を、再開する気があるとは思えない。バイデン政権が成立する見込みはないのだから、無駄骨を折る必要はないと考えているとも取れ、単に足を引っ張るためとも取れる。いずれにせよ、1月6日には、両党・両院による連邦会議があり、そこで新大統領が決定すると言われている。